

前期基本計画 平成27年度 政策方針評価書

政 策： 04 ひとにやさしく安心・快適で活力あふれるまちを目指します

担当部長職・氏名	都市整備担当部長 三上 喜美義
	上下水道担当部長 齋藤 善則

1. 政策の平成27年度までの実現状況を明らかにする

(1) 計画のビジョン（政策が実現できたときの状態）

	少子高齢化の進展に対応した暮らしやすい生活基盤の整備・維持管理について、子供から高齢者まで安心して安全に暮らし、交流することで生きがいを感じることができるひとにやさしく安心・快適で活力にあふれるまちとなること。
--	---

(2) 政策目標値の達成状況

No	政策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	進捗率(%)	
1	暮らし 滝沢市は住みやすい市だと感じている人の割合 単位 %	75.9	76	76.7	77.4	78	78.5	E	
			74.1	-	-	-	-	△69.2	
2	幸福 滝沢市に愛着がある市民の割合 単位 %	74.2	75	75.7	76.4	77	77.7	E	
			72.3	-	-	-	-	△54.3	
	単位								

(3) 政策を構成する基本施策及び目標値の達成状況

No	基本施策名 基本施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	進捗率(%)	
1	暮らし 04010000 都市づくりビジョンの策定 住民基本台帳（9月末）による人口 単位 人	55,174	55,500	55,500	56,000	56,500	56,500	B	
			55,184	-	-	-	-	0.8	
2	幸福 04010000 都市づくりビジョンの策定 地域の居心地が良いと思っている人の割合 単位 %	62.9	63	64	66	68	70	D	
			61.9	-	-	-	-	△14.1	
3	暮らし 04020000 計画的な道路整備と維持管理 滝沢市に愛着がある市民の割合 単位 %	74.2	75	75.7	76.4	77	77.7	D	
			72.3	-	-	-	-	△54.3	
4	幸福 04020000 計画的な道路整備と維持管理 子どもが安全に通学できると感じる人の割合 単位 %	46.3	47	48	49	50	51	A	
			49.3	-	-	-	-	63.8	
5	暮らし 04030000 利用しやすい交通網の整備 市内のバスや電車は便利で利用しやすいと思っている人の割合 単位 %	35.1	35.1	36	36.5	37.5	38	D	
			31.7	-	-	-	-	△117.2	
6	幸福 04030000 利用しやすい交通網の整備 子どもが安全に通学できると感じる人の割合 単位 %	46.3	47	48	49	50	51	A	
			49.3	-	-	-	-	63.8	

前期基本計画 平成27年度 政策方針評価書

政 策：04 ひとにやさしく安心・快適で活力あふれるまちを目指します

担当部長職・氏名	都市整備担当部長 三上 喜美義
	上下水道担当部長 齋藤 善則

(3) 政策を構成する基本施策及び目標値の達成状況

No	基本施策名 基本施策目標指標	基準値 平成26年度	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値 平成31年度	進捗状況 進捗率(%)
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
7	暮らし 04040000 河川砂防・雨水排除施設の整備 浸水被害件数 単位 件	1	1	1	1	1	1	F	
			1	-	-	-	-	0.0	
8	幸福 04040000 河川砂防・雨水排除施設の整備 滝沢市に愛着を持っている人の割合 単位 %	74.2	75	75.7	76.4	77	77.7	D	
			72.3	-	-	-	-	△54.3	
9	暮らし 04050000 持続可能な水道経営 経営資本営業利益率 単位 %	1.9	1.9	1.9	1.9	1	1	E	
			1.96	-	-	-	-	0.0	
10	幸福 04050000 持続可能な水道経営 滝沢市に愛着がある市民の割合 単位 %	74.2	75	75.7	76.4	77	77.7	D	
			72.3	-	-	-	-	△54.3	
11	暮らし 04060000 安全で強靱な水道の持続 滝沢市の水道水がおいしいと感じている人の割合 単位 %	68.1	70	71	72	73	73.5	A	
			70.8	-	-	-	-	50.0	
12	幸福 04060000 安全で強靱な水道の持続 滝沢市に愛着がある市民の割合 単位 %	74.2	75	75.7	76.4	77	77.7	D	
			72.3	-	-	-	-	△54.3	
13	暮らし 04070000 効率的な汚水処理施設の整備 水洗化率(行政区域内人口に対する合併浄化槽も含めた水洗化率) 単位 %	76.7	77.5	78.5	79.5	80.4	81.3	A	
			82.5	-	-	-	-	126.1	
14	幸福 04070000 効率的な汚水処理施設の整備 滝沢市に愛着を持っている人の割合 単位 %	74.2	75	75.7	76.4	77	77.7	D	
			72.3	-	-	-	-	△54.3	
	単位								
	単位								
	単位								
	単位								

前期基本計画 平成27年度 政策方針評価書

政 策：04 ひとにやさしく安心・快適で活力あふれるまちを目指します

担当部長職・氏名	都市整備担当部長 三上 喜美義
	上下水道担当部長 齋藤 善則

2. 政策の実現に向けての平成27年度までの取り組み状況を分析する

(1) 政策目標の達成（実現）に向けた基本計画期間内の取り組みと方針についての達成（実現）状況

B	概ね達成した
<ul style="list-style-type: none"> ・交流拠点複合施設の開設に合わせた市内幹線バス網については、財源調整が困難な状況から、方針の変更が必要です。 ・将来の公共交通網形成計画策定のため市内公共交通実態調査を実施し、公共交通の検討課題を把握しました。 ・交流と活力、雇用の拠点づくりに向けて市民アンケートや企業ニーズ調査を実施し、将来の土地利用ビジョン策定に取り組みました。 ・スマートインターチェンジ(SIC)については、平成31年3月の完成・供用を目指し、用地補償契約の9割以上を締結し着実に事業の進捗が図られました。 ・安全、快適な道路環境の整備を継続するとともに橋梁の長寿命化推進のための定期点検に着手しました。 ・浸水被害を未然に防止するため排水路の整備等を実施しました。 ・上下水道事業は、市民生活に欠くことのできないライフラインとして将来にわたり安定した事業運営を継続が重要であり、老朽化した管路や施設の更新や補修を行い、一方では効率かつ効果的な施設運営を行い事業経営に取り組みました。 	

(2) 基本計画内の取り組みと方針のうち、平成27年度の重点課題の達成（実現）状況

B	概ね達成した
<p>【重点課題】・土地利用ビジョン策定に向けた調査・基本方針の検討・市内幹線バス網整備に向けた関係機関との調整と運行案の策定、バスマップの作成・道路維持管理計画の策定・SICの事業用地取得契約の締結・空き家対策に向けた実態調査</p> <p>・新水道ビジョンの策定、公共下水道と合併処理浄化槽普及のための助成制度の周知</p> <p>【重点課題に対する達成状況】・ビジョン策定に向け、アンケートによる市民や企業のニーズ把握を行いました。・市内幹線バス網については方針の変更が必要となりました。公共交通網形成計画とバスマップ作成については、平成28年度に県補助金を活用しながら取り組んでいきます。・道路維持管理計画の策定に向け、地域別維持修繕費等の推移を把握しました。・SICについては、用地補償契約の9割以上を締結しました。・空き家対策については、実態調査の上適正管理を促しました。・新水道ビジョンを策定しました。・公共下水道と合併処理浄化槽普及のための助成制度の周知を行いました。</p>	

3. 政策の実現に向けて平成27年度実施後での変化（外部環境・内部環境）を認識する

B	取組みの一部見直しが必要
<p>【外部環境】</p> <p>（都市整備部）社会資本総合整備交付金の要望額に対する内示率の低下、集中復興期間における配分額の影響、除雪協力業者の減少傾向、建設資材・労務費の高騰による建設費の高騰</p> <p>（上下水道部）公共下水道への接続の鈍化がみられました。</p> <p>【内部環境】</p> <p>（都市整備部）橋梁等道路施設や公園遊具等の老朽化、少子高齢化に伴う交通弱者の増、財源調整による計画の見直しが必要な事業の市民と議会への説明、複合施設・スマートインターチェンジ建設による市拠点環境の基盤づくりの進捗</p> <p>（上下水道部）新水道ビジョンの計画に合わせた新たな取り組み姿勢ができました。</p> <p>【環境変化と対応の認識】</p> <p>（都市整備部）財源調整に伴う計画の見直し、期間の変更等生じる事業について、関係機関、部内、庁内調整を経ながら、市民、議会に対し丁寧な説明が必要です。</p> <p>（上下水道部）公共下水道の接続が進まない状況で市民への事業の理解と接続の更なる周知が必要です。</p>	

4. 政策の実現に向けての今後の取り組みと方向性を明らかにする

(1) 平成29年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

B	課題あり
<p>【今後の方向性】</p> <p>厳しい財政状況において、部内事業の優先順位付けを行いながら全体の計画を調整し、引き続き安心、安全な生活基盤づくりのための取組を進めます。</p> <p>老朽管と老朽施設の更新と人口減少を見据えた適正規模の更新を図りながら、安全で安定した持続可能な経営を継続します。</p> <p>【引継課題】</p> <p>・土地利用ビジョンの策定・スマートインターチェンジの整備財源の確保・小岩井駅前広場の早期の方向性決定・公共交通網形成計画の策定とバスマップ作成、広報掲載を通じた意識醸成と利用促進・道路整備計画、維持管理計画の策定・仁沢瀬川の準用河川改修事業に向けた課題整理と関係機関との調整・空き家対策の展開・公共下水道の接続率の向上を図り、安定経営に向けた取り組みの実践。</p>	

